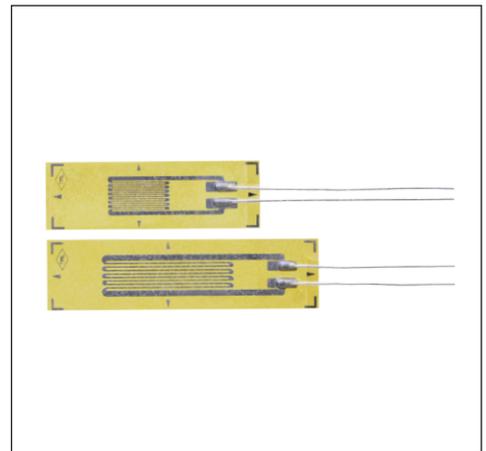


# 塑性域ゲージ YHFシリーズ

## 30%を超える大ひずみの測定

YHFシリーズは、各種構造物の弾性域から塑性域までのひずみ測定を行えるひずみゲージです。大変形時のひずみ測定は、従来の塑性域ゲージで15~20%の測定が限度でしたが、パターン形状、抵抗素子を見直し、室温におけるひずみ限界を大幅に改善し30~40%のひずみ測定を可能にした塑性域ゲージです。

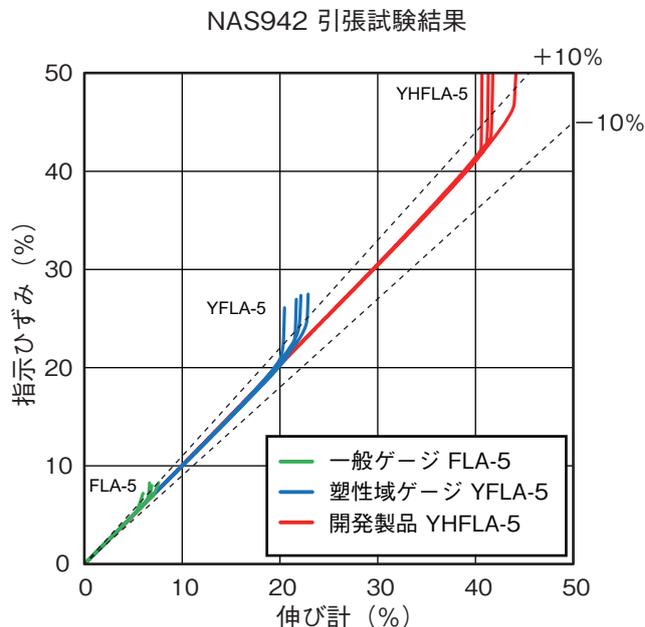
金属材料の大ひずみ測定や破断試験に利用いただけます。



### 特長

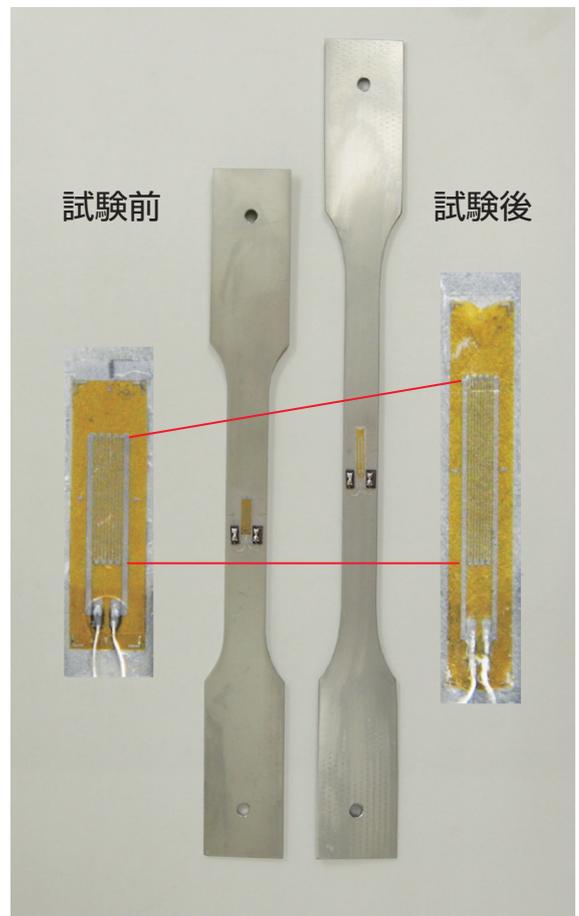
- 室温のひずみ限界30~40%

### 引張試験結果



試験条件 (JIS Z2241 準拠)

試験速度	0.02mm/s
試験片	SUS304 (13B号)
接着剤	CN-Y
試験環境	室温 (約 20℃)



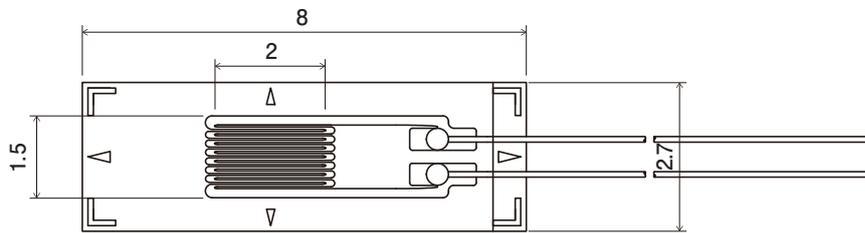
## 仕様

ひずみゲージ型名	YHFLA-2	YHFLA-5
形状	単軸	
ゲージ長 / ゲージ幅	2 / 1.5 mm	5 / 1.7 mm
ゲージベース寸法 長さ / 幅	8 × 2.7 mm	11 × 3 mm
材質	抵抗素子：特殊合金	ゲージベース：特殊プラスチック
ゲージ抵抗値	120 Ω	
ゲージ率	約 2.6	
使用温度範囲	- 30 ~ + 80℃	
測定対象材料	金属	
適用接着剤	CN-Y、CN	
室温におけるひずみ限界	30 ~ 40% (300000 ~ 400000 × 10 <sup>-6</sup> ひずみ)	
室温における疲労限界※1	2 × 10 <sup>4</sup> ( ± 1500 × 10 <sup>-6</sup> ひずみ 15Hz 負荷にて)	

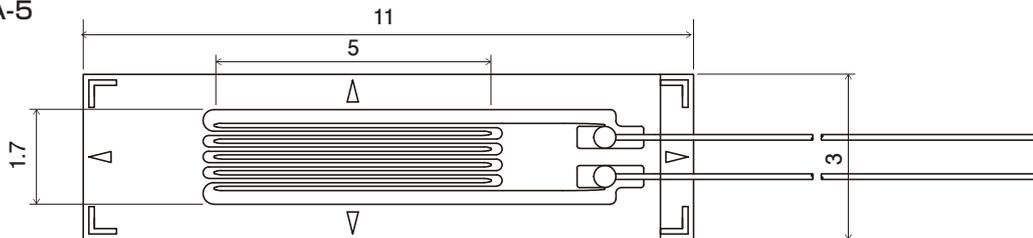
※1：弾性域 (約 ± 1500 × 10<sup>-6</sup> ひずみ、15Hz) の繰り返し測定を行い、100 × 10<sup>-6</sup> ひずみ以上に指示値が変化した回数。

## 外観寸法図

YHFLA-2



YHFLA-5



単位：mm

### ⚠ 注意

- ① ひずみ限界は、0 ~ +40℃で 30 ~ 40%です。
- ② ひずみ補正係数は、試験片が金属材料のみ対応します。
- ③ 1℃当たりの温度特性は、約 600 μm/m/℃です。
- ④ 温度変化が生じない環境で測定してください。
- ⑤ 適用接着剤は、CN-Y または CN です。
- ⑥ 下記の条件において、ひずみ限界は低下します。
  - ・試験片が均一ではない変形や亀裂が生じる場合
  - ・高温または低温における測定の場合
- ⑦ 0 ~ +40℃以外の場合は、お問合せください。



株式会社東京測器研究所

### ⚠ 安全に関するご注意

- 安全にお使いいただくため、ご使用前には、「取扱説明書」をよくお読みの上、記載内容に従ってご使用ください。



ISO 9001:2015 認証取得  
 認証取得範囲 ISO9001  
 ひずみゲージ、ひずみ測定  
 装置、変換器の設計と製造

本社  
 140-8560 東京都品川区南大井 6-8-2  
 TEL.03-3763-5611 FAX.03-3763-6128



www.tml.jp

お問合せ、ご用命は